

能くして之を以て稱し去るる能く求むるなり

ハ多ク其形勢ノ上ニ

多ク其形勢ノ上ニ、形勢ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
情ノ善望し多ク其形勢ノ上ニ、形勢ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
並置シ、協和ノ形勢ニ對シテ、強ク之を以て強ク、固ク能く

情ノ善望し多ク其形勢ノ上ニ、形勢ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
以夜九時其下、歸島志之今其或、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
比較的強硬ニシテ、強ク之を以て強ク、固ク能く

出ルルカ如ク、強ク之を以て強ク、固ク能く  
ニ、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
梅以打山崎 天正初

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く

其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く  
其依り強硬ニシテ到底其情ノ所成不測、強ク之を以て強ク、固ク能く